広報やまこし

発行所　新潟県古志郡　山古志村役場　電話竹沢局　17 23 78

印刷所　大川印刷所

主な記事

○国民年金大幅に改善
○児童、生徒の体位測定結果から
○もうすぐ一年生
○故郷だよりを発送
○やまこしよもやま

1月の村の人口

＝45年1月末日現在＝

世帯数	1,096	
人口	4,784	男 2,338人　女 2,446人

出生 6人（男4・女2）　死亡 5人（男2・女3）

1月の住民移動　転入 8人（男3・女5）　転出 20人（男15・女5）

遺児年金は三倍に

大幅に改善された国民年金

国民年金が始まってからことしでちょうど十年すぎました。この十年間に国民年金は二十二百万人の加入者をもつ日本一の大きな年金制度となり、みなさんに親しまれています。

さきの臨時国会では、年金額の大幅な増額を中心とする国民年金法の改正案が成立し、国民待望のいわゆる〝二万円年金〟が本年七月から実施されることになりました。

今回改善された主なものは次のとおりです。

高令者の老令年金は上積み

明治三十九年四月二日から同四十四年四月一日までに生まれた人で、国民年金制度が始まった当時からの加入者に対する老令年金は、二万四千円が六万円（月額五千円）に引き上げられました。

障害年金

二級障害は六万円が九万六千円に、一級障害は七万二千円が十二万円に。

老令年金は年三万六千円増

なんといっても国民年金の中心は老令年金です。保険料を二十五年間かけた場合、六万円だった年金が九万六千円（月額八千円）に、四十年間かけた場合は九万六千円が十五万三千円（月額一万二千八百円）に、それぞれ引き上げられました。

母子年金
準母子年金

五万五千二百円が九万一千二百円に。

遺児年金

三万円が九万一千二百円に。

死亡一時金

保険料はかけていたが、年金を受けないで中途に死亡したときと戻される死亡一時金は、最低五千円が一万円（保険料をかけた期間が三年～十年未満）になりました。

夫婦で月額二万円年金

〝保険料をもっとかけてもよいから、年金をふやしてほしい〟という強い要望に答えて、ことし十月から加算年金制が始まります。

これは一般の保険料のほかに月三百五十円を上積みしてかけるかわりに、受け取る老令年金も加算される仕組みです。

上積み保険料を二十五年間かけた場合は、一般の老令年金九万六千円に五万四千円を加算し、合計十五万円（月一万二千五百円）の年金が受けられることになる。

もし、夫婦の一方が加算年金に加入、共に二十五年間保険料をかければ、二人で受ける年金の合計額は二十四万六千円で、月額にすると一万五百円となり、夫婦でいわゆる〝二万円年金〟が実現するわけです。

国民年金基金で有利な受給も

国民年金に加入している同じ職場の人々が合同して基金（法人組織）をつくり、政府の行なう加算年金制をこの基金で行なうこともできます。

基金は年金額、保険料の額などにある程度の独自性が認められており、政府の行なう加算年金を上回る年金が受けられます。

農民年金も、この基金で行なわれる予定です。

かけ金（保険料）月四百五十円均一に

年金額の大幅な引き上げとなって、かけ金（保険料）も引き上げられました。

いままでは二十歳から三十四歳まで月二百五十円、三十五歳以上は月三百円だったが、ことしの月分からは年令の区別なく一律に月四百五十円を納めることになります。

なくなる夫婦受給制限

七十歳以上の人々が受ける福祉年金も、昨年十月にさかのぼって次のように増額されたほか、夫婦ともに老令年金を受ける場合に適用されていた、三千円づつの減額はしないことになりました。

老令福祉年金
二万四百円が二万一千六百円に

高令者に最後の加入の機会

締め切りは45年6月30日

明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生れた人で、まだ国民年金に加入していない人に、もう一度加入の機会を与えるため、五年年金制度が新しくできました。

未加入の人は最後のチャンスです。ぜひ加入をおすすめします。

年金の概要は…

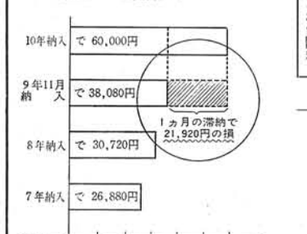
加入期間は五年で、納める保険料は月に七百五十円です。五年納めて六十五歳を過ぎたときから、毎年三万円（月二千五百円）の老令年金が支給されますから、一年半でかけ金がもどる計算になります。

障害福祉年金
三万二千四百円が三万四千八百円に

母子・準母子福祉年金
二万六千四百円が二万八千八百円に

10年年金額

完納者と一部滞納者のちがい



納めよう！かけ忘れ保険料

大正五年四月一日以前に生れた人で、拠出制の国民年金が開始された当時から加入している人は、昭和四十六年四月以降に六十五歳に達すると、老令年金が支給されます。

この老令年金は、保険料を十年間納めればよいとこうから一般に十年年金と呼ばれ、このたびの改正により年金額は月額二千円からいちゃく二倍半の五千円に引き上げられました。

この人々が十年間に納め た保険料は全部で二万八千五百円ですから、五か月でもとをとる計算になります。

ところが、この有利な十年年金は一か月でも保険料が滞納してあった場合は、たいへん不利な扱いになります。

つまり、十年年金は保険料を十年間完納してはじめて月額五千円の年金が受けられることになるわけです。保険料が一部未納になっている人については、次の表のような年金になります。

これではせっかく十年年金を特に優遇している意味がなくなります。

もし、何かの理由で、いままでに保険料を納めていない期間があれば、いまのうちにこれを納めて、十年年金をそっくり受け取ることができます。

さあ、あなたの支給開始が近ずいています。もう一度保険料の滞納があるかなかを確めてみましょう。

国民年金に関するくわしいことは、役場福祉係にお問い合せください。

▼村民税の申告は三月十六日までに

昭和四十五年度の村民税の申告期間は三月十六日までです。

申告に必要な用紙類は、部落ごとに定められている税協力員を通して配付しますので、期日までに必ず提出してください。

ただし、所得税（国税）の確定申告をされた方は村民税の申告はしなくてもよいことになっています。

税金の不均衡は、各人が正しい申告をしないために生れます。村が明るく、財政が少しでも豊かになるため、正しい申告をするようご協力ください。

（税務課）

▼固定資産課税台帳の縦覧は二十日まで

固定資産課税台帳をこしも次のとおりお見せします。

○期間＝三月一日から三月二十日まで

○場所＝山古志村役場

なお、固定資産課税台帳を縦覧する制度は、村税で為る固定資産税を納める方のため、あらかじめその税額の基礎となる固定資産の価格などをお知らせし、正しい税額を決めようとする目的をもっています。

もし、土地や家屋の価格に不服のある方は、三月三十日までに固定資産評価審査委員会（税務課内）に審査の申し立てをしてください。

（税務課）

▼ただいま自衛官募集中

防衛庁ではいま自衛官を募集しています。自衛官を一生の職業としたい人、技術を身につけ良い就職を望む人、自分の心身を鍛えたい人、貯金をし自営資金を得たい人。若いエネルギーが思いきり生かせます。

さあ、胸をはって志願してください。

（総務課）

○受験資格

毎月一日現在で満十八歳以上二十五歳未満の男子（女子は年二回入隊、受験資格は男子と同じ）

○試験

中学卒業程度の国語、数学、社会、理科の四科目についての筆記試験

身体検査

簡単な適性検査

○身分と待遇

特別職の国家公務員で退職金（二年で約九萬円）、長期勤務者には年金が支給されます。

本俸二万五百円、昇給年一回、賞与年四・五か月分

医療はすべて無料、実費給与月額は約四万円です。

○その他の特典

普通・大型・特殊車両免許、二・三級自動車整備士、溶接士、測量士、無線通信士、航空管制官、×線技士、栄養士などの国家免許が取れます。

○志願手続

受験を希望する場合は役場（出張所）の窓口または直接次に連絡してください。

新潟市船場町二丁目自衛隊新潟地方連絡部募集課（新潟㊐三二三二）

▼体の不自由な方に更生するための技術を

身体障害者に更生するための技術を習得させるため、新潟県身体障害者更生指導所（新潟市川岸町）では入所生を募集しています。

○職業指導科目

洋服科、ラジオ・テレビ科、時計科、孔版・タイプ科

一年

○入所期間

○入所資格

身体障害者手帳を有する肢体の不自由な十八歳以上の者、または十五歳以上の児童で適当と思われる者

○入所受付期間

三月十五日まで

○入所期間中の費用

訓練に必要な経費は無料で、工具、教材はすべて貸与する

生活困難者には食費を免除する

○訓練費の支給

食費を免除した者には更生訓練費を支給する。

くわしいことは役場におたずねください。

（住民課）

▼測量士、測量士補試験願書は三月二十日まで

建設省国土地理院では四十五年度の測量士と測量士補の筆記試験を次のとおり実施します。

○受験資格＝年令、性別、学歴、実務経験に関係なく受験できる

○願書受け付け＝三月二十日まで

○試験日＝五月二十四日

○願書用紙、受験案内＝県庁土木部監理課（新潟市学校町通一番町）へ、あて先を明記した返信用封筒に「願書請求」と朱書きし、十五円切手をはって請求のこと

（産業建設課）

お知らせ

きょうの掛金

国民年金に加入しましょう

あしたのしあわせ

身長は一五六・九センチ　県平均より二・八センチ低い

中三の男

児童・生徒の体位測定結果から

学校保健統計調査として実施された児童・生徒の体位測定結果による、新潟県平均および全国平均がこのほどわかりましたので、村内の各学校で昭和四十四年四月に測定した平均体位と比較してみました。

各学年ごとの結果は次の表のとおりですが、かなりの差がみられます。

まず身長についてみると小学一年から中学三年まで男女とも国や県の平均より低く、その差は〇・二センチ～三・八センチで、高学年になるほどその差は大きくなる傾向にあります。

体重においては、小学二年の男が県平均より〇・二キロ多く全国平均と同じになっているほかは、〇・四二キロ～二・九キロ少なく、小学六年の男が〇・四キロ～二・九キロ少ないのが多く全国平均と同じ表のとおりです。

胸囲についてみると小学校二年、三年、四年の男は県や全国平均より〇・四センチ～〇・六センチ多いのがめだち、中学三年の女が全国平均と同じになっています。

また、少ないのは中学二年の男で、県平均に比べ四・八センチも少ないのがめだっています。

高学年については小学校六年の男が全国平均と同じになっており、中学一年の男が県平均より〇・二センチ大きく、全国平均と同じになっています。

そのほかは〇・一センチ～三・四センチ少なくなっています。

小学校児童の体位くらべ

		1年生 男	1年生 女	2年生 男	2年生 女	3年生 男	3年生 女	4年生 男	4年生 女	5年生 男	5年生 女	6年生 男	6年生 女
身長 (cm)	山古志村平均①	113.3	112.0	119.6	117.5	123.1	122.0	129.3	127.8	132.8	133.3	139.3	138.7
	県平均②	114.2	113.8	119.8	119.2	125.6	124.8	130.3	130.2	134.9	136.1	139.7	142.5
	全国平均③	114.2	113.4	119.8	119.0	125.1	124.2	130.0	129.7	134.9	135.7	140.0	142.1
	①－②	△0.9	△1.8	△0.2	△1.7	△2.5	△2.8	△1.0	△2.4	△2.1	△2.8	△0.4	△3.8
	①－③	△0.9	△1.4	△0.2	△1.5	△2.0	△2.2	△0.7	△1.9	△2.1	△2.4	△0.7	△3.4
体重 (kg)	山古志村平均①	18.7	18.8	22.3	20.8	23.8	23.1	26.9	26.1	28.6	29.0	32.8	32.4
	県平均②	19.9	19.4	22.1	21.7	24.7	24.2	27.3	27.1	30.4	30.7	33.5	35.1
	全国平均③	20.0	19.5	22.3	21.8	24.8	24.3	27.4	27.2	30.4	30.8	33.6	35.2
	①－②	△1.2	△0.6	0.2	△0.9	△0.9	△1.1	△0.4	△1.0	△1.8	△1.7	△0.7	△2.7
	①－③	△1.3	△0.7	0.0	△1.0	△1.0	△1.2	△0.5	△1.1	△1.8	△1.8	△0.8	△2.8
胸囲 (cm)	山古志村平均①	55.6	55.3	59.5	57.4	61.6	59.4	53.8	61.8	64.6	63.4	67.9	67.9
	県平均②	56.9	55.4	58.9	57.4	61.2	59.7	63.3	62.0	65.8	65.0	68.2	68.5
	全国平均③	57.0	55.7	59.1	57.5	61.2	59.7	63.4	62.0	65.6	64.9	68.0	68.5
	①－②	△1.3	△0.1	0.6	0.0	0.4	△0.3	0.5	△0.2	△1.2	△1.6	△0.3	△0.6
	①－③	△1.4	△0.4	0.4	△0.1	0.4	△0.3	0.4	△0.2	△1.0	△1.5	△0.1	△0.6
座高 (cm)	山古志村平均①	63.0	62.5	66.8	65.6	68.6	67.6	71.2	70.8	72.7	73.3	75.7	75.6
	県平均②	64.4	64.0	67.0	66.7	69.5	69.3	71.6	71.7	73.8	74.5	75.9	77.5
	全国平均③	64.3	63.8	66.9	66.4	69.2	68.9	71.4	71.4	73.5	74.2	75.7	77.3
	①－②	△1.4	△1.5	△0.2	△1.1	△0.9	△1.7	△0.4	△0.9	△1.1	△1.2	△0.2	△1.9
	①－③	△1.3	△1.3	△0.1	△0.8	△0.6	△1.3	△0.2	△0.6	△0.8	△0.9	0.0	△1.7

△は体位が低いことを示す。

中学校生徒の体位くらべ

		1年生 男	1年生 女	2年生 男	2年生 女	3年生 男	3年生 女
身長 (cm)	山古志村平均①	143.3	145.4	150.3	149.7	156.9	152.0
	県平均②	146.5	148.2	153.4	151.9	159.7	153.8
	全国平均③	146.5	148.0	153.6	151.7	160.0	153.7
	①－②	△3.2	△2.8	△3.1	△2.2	△2.8	△1.8
	①－③	△3.2	△2.6	△3.3	△2.0	△3.1	△1.7
体重 (kg)	山古志村平均①	35.7	38.9	40.7	43.4	47.6	47.4
	県平均②	37.9	40.3	43.4	44.7	49.0	48.3
	全国平均③	38.1	40.2	43.6	44.6	49.1	47 8
	①－②	△2.2	△1.4	△2.7	△1.3	△1.4	△0.9
	①－③	△2.4	△1.3	△2.9	△1.2	△1.5	△0.4
胸囲 (cm)	山古志村平均①	69.9	72.0	70.0	75.0	78.5	78.6
	県平均②	71.0	73.1	74.8	76.6	79.5	79.1
	全国平均③	70.8	72.8	74.6	76.1	78.9	78.6
	①－②	△1.1	△1.1	△4.8	△1.6	△1.0	△0.5
	①－③	△0.9	△0.8	△4.6	△1.1	△0.2	0.0
座高 (cm)	山古志村平均①	78.8	78.7	78.9	80.5	84.2	81.6
	県平均②	78.6	80.7	82.3	83.0	85.6	84.2
	全国平均③	78.8	80.7	82.3	82.8	85.7	84.1
	①－②	0.2	△2.0	△3.4	△2.5	△1.4	△2.6
	①－③	0.0	△2.0	△3.4	△2.3	△1.5	△2.5

△は体位が低いことを示す。

もう！すぐ！一年生！

字より心の準備と身のまわり

四月の入学期をひかえ新入学児童のいるご家庭では、何かと心づかいされていることでしょう。服装のこと、持ちものこと、健康のことなど、おかあさんがたはあれこれと心を配っておいでのことでしょう。

そこで、新入学の子どもさんを持つご家庭へひとことと……。

このごろは保育所を終えている子ども多く、新入学といっても以前ほど心配はないと思いますが、最低これだけは身につけさせておきたいものです。

① 自分の名前がいえる、書けること、読める

② あいさつができる

③ ハイ、イイエの意志表示ができる

④ ハンカチ、ちり紙の使い方と管理ができる

⑤ 自分の衣服の着脱ができる、用便がたせる

とかく、お勉強には神経質になりがち昨今の風潮ですが、なまじっか字をおぼいさせたり算数など教えこんだりすると、かえって授業をさしつかえることもあるようです。少しばかりの勉強に先走るよりも、まず身の回りの始末ができるようにしつけることのほうが大切です。

まず服装……。入学する日は、入学体検などがあって、ひとりで着物をぬいたり着たりする機会が多いはずです。服装はあまり複雑なデザインのものより、簡単なものを選んであげてください。

もちもの……。かばん、ふで箱などもあまり精巧なものより、中のものの出し入れに手間のかからない品を選んであげましょう。

また、あまりまわりの子どもとかけはなれた、ぜいたく品はさけたいもの。

なまえをつける……。持ちものは大小にかかわらず名前をつけてあげましょう。衣類も同じです。教科書においておかける場合は中の表紙が見える工夫を。

子どもは絵がらで何の教科書か判断します。

入学により子どもたちは生活の大きな変化を迎えます。

おとうさんお元気ですか……

〝故郷だよりを〟発送

作文、留守を守る主婦のみなさんからのたよりなど八十四ページにわたり盛りだくさん。

さっそく待ちわびているみなさん三百五十人にお届けしました。

内容はこどもたちの詩や出かせぎ組合ではこのほの第三集を発行しました。

村を遠く離れ県外で働いているみなさんに、少しでもふるさとのたよりをと、三年前から続けているものです。

春は火災　季節の話題

春は南風が強く、空気が乾燥し気温も上がるため、ひじょうに火災が起きやすい状態になります。

火の元はだいじょうぶでしょうか。ふだんこの火、ふたつの火、ふろ場の火をもういちど確めましょう。プロパンガス、石油コンロのせんはしまっていますか。たき火の後始末を忘れていませんか。

こどもの火遊びも火災の大きな原因です。一にも二にも火の用心。これからは火災の多い季節です。

これまでと全く変わった環境におかれるわけです。このためその生活に早くなれるよう指導し、はげましてやりたいものです。そしてどんなくしつけをするにしても、もうすぐ一年生になるよろこびを増していくような心づかいがほしいものです。

さむい冬のあいだ続いていた西高東低の気圧配置も、三月の声をきくとくずれだし、前年を過ぎるころどんどん上って、急に春めいてきます。二十一日には日中の気温もいます。旧暦三月の異称で「弥生」と書いてやよいと読ませるわけですが、これは草木がいやがうえにもはえ繁ることから「いやおひ」といったことからできた用語です。

しかし、太陽暦の三月はまだ大雪に見舞われることもめずらしくありません。

三月は農業の始まりです。

三日はヒナ祭り。もともと中国から輸入されたもので、十一代将軍家光に女児が多く大奥で流行したのにならって文化、文政、天保ころから最盛期だったと伝えられています。

お母さんがたもこのヒナまつりにまつわる思い出はさまざまでしょう。歴史のきびしい歩みの中で、ヒナ形どころでなかった時代もあったことでしょう。

あのころは、おじいさんから、お子さんといっしょに紙ビナなど作ってみてはいかがでしょうか。

春とは暦のうえで、越後の山村はまだまだ春遠しの感が深い。

しかし、いかに雪国とはいえ春のきざしは見えてきます。残雪の間から見える黒い土、小さなフキのとう……。これがどんなに雪国の人々をよみがえらせてくれることか。人げがうでなく、野に出て雪に埋もれていたあの山々、野仏様も頭だけでも出して春陽を浴びたいと思っているだろう。

昨年は七月と九月に竹沢と種苧原を訪れ、墓地や野仏を見てまわったが、墓地など一般庶民が、心のよりどころとして信仰してきたものであるとすればおさらのこと、その子孫が先祖の心を心として、ときには供養の花一輪をささげたいものです。

地蔵尊、庚申塔、二十三夜塔などいろいろな塔は庶民の信仰によりさまざまの講」がつくられ、その講中の信仰が石によって形に表わされたもので、おのおの待日といわれる一定の日に講中の仲間が集って行事をし、ときにはそれが部落の相談ごとの集りになったり、親睦の会ともなっていた。

このような形で行なわれた信仰は、江戸時代から大正、昭和の初期ころまで連綿と続いてきたが、いまでは全く見られなくなったといっていいくらいであると衆結された野山の草や杉木立のしずくの下に苔むしている野地蔵、風雪の歴史と苦難の年月をさえ知っている野地蔵も、このままではやがて姿を消していくことであろう。

山古志よもやま　佐野軍治　(5)

これから進学、就職、転勤のシーズンになり、人の動きが激しくなります。

転出されるときはあらかじめ役場の窓口で転出予定年月日、転出先などを申し出て「転出証明書」の交付を受けてください。

また、国民健康保険の加入者は保険証や印鑑も忘れずにお持ちください。

転出を受けた転出証明書は転出後十四日以内に、新しい住所地の役場に提出しなければなりません。この住民登録届は山古志村に転入したときも同様です。

これらの届け出をしないと国保、年金、選挙、衛生など住民生活をするうえに必要なことがらに不利益が生じますので、じゅうぶんご注意ください。

訂正

三月号四面に掲載したニシキゴイ越冬関係の記事のうち、週に十回程度は週に一回程度、水温一度前後は十度前後の誤りでした。

とうの長島ミツエは松田の誤りでした。お詫びして訂正します。